

## 墨田区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）第5次計画 2024（令和6）年度結果報告書

- 第5次計画期間中（2020年度～2025年度）の削減目標  
2013（平成25）年度比で、2025（令和7）年度までに温室効果ガス排出量を27.5%削減する。

### 1 2024（令和6）年度の温室効果ガス総排出量

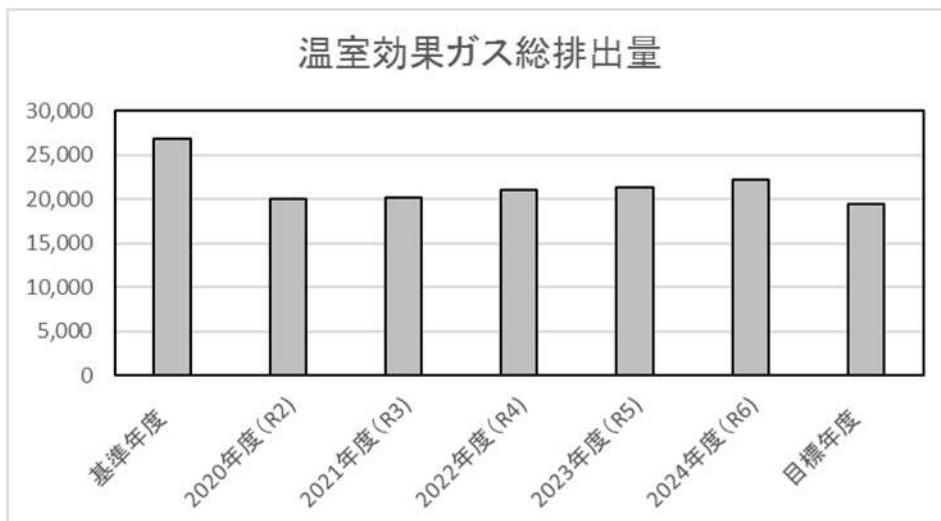
2024（令和6）年度区の事務事業による温室効果ガス排出量は、22,209 t-CO<sub>2</sub>で、基準年度比では17.2%減少となっているものの、前年度比で4%増加している。

**総排出量** 22,209 t-CO<sub>2</sub> (1t未満四捨五入)

基準年度	26,825 t-CO <sub>2</sub>	<u>17.2%減少</u>
前年度	21,353 t-CO <sub>2</sub>	<u>4%増加</u>

表1 区施設における温室効果ガスの総排出量

	基準年度 2013年度 (平成25年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	26,825	20,056	20,173	21,028	21,353	22,209	19,448
基準年度比増減量 (t-CO <sub>2</sub> )		6,769	6,652	5,797	5,472	4,616	7,377
前年度比増減量 (t-CO <sub>2</sub> )		1,830	117	855	325	856	
基準年度比(%)		25.2	24.7	21.6	20.4	17.2	27.5
前年度比(%)		8.3	0.6	4.2	1.5	4	



## 2 2024(令和6)年度の各エネルギー使用量

本計画では、エネルギー使用量の削減目標を、「エネルギーの使用と合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」(昭和54年6月22日、法律第49号)に基づき、前年度比1%以上削減し、6年間で6%以上の削減を目標としている。(表2)

都市ガス使用量は前年度より減少しているが、電気・熱源・燃料の使用量が増加となつた。

(1) <b>電気使用量</b>	<b>32,448,541 kwh</b>	
前年度	31,671,430 kwh	<u>2.4%増加</u>
(2) <b>都市ガス使用量</b>	<b>2,742,687 m³</b>	
前年度	2,818,349 m³	<u>2.6%減少</u>
(3) <b>熱源使用量</b>	<b>8,951,780 MJ</b>	
前年度	7,551,519 MJ	<u>18.4%増加</u>
(4) <b>燃料使用量</b>	<b>96,146</b>	
前年度	94,379	<u>1.8%増加</u>

表2 発生源別使用量

	基準年度 2014年度 (H26年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	目標値 2025年度 (R7年度)
<b>電気 (kWh)</b>	38,206,564	30,043,871	30,468,685	31,246,839	31,671,430	<u>32,448,541</u>	28,241,239
<b>都市ガス (m³)</b>	2,600,155	2,597,232	2,715,390	2,783,332	2,818,349	<u>2,742,687</u>	2,441,398
<b>熱源 (MJ)</b>	8,045,110	6,905,470	6,938,248	7,167,208	7,551,519	<u>8,951,780</u>	6,491,142
<b>燃料 ( )</b>	426,877	95,108	80,099	81,705	94,379	<u>96,146</u>	89,402

目標値は、計画開始年度の2020年度から-6%の数値

燃料は、ガソリン、軽油及び重油の購入量

( 天然ガス車のCNGガスの使用量は、ガスに含まれる。 )

### 3 令和 6 年度の水道、紙の使用量及び廃棄物の排出量

温室効果ガス排出量の算出対象ではないが、本計画では地球温暖化防止に寄与する取組として、水道、紙の使用量（A4 換算）庁舎から排出される廃棄物について、計画期間中の前年度比 1 %（計画期間中 6 %）以上の削減を目標としている。

水道使用量は 3.8 % 減少、紙の使用量は 10.1 % 減少、廃棄物排出量は 10.7 % 増加した。

( 1 )	<b>水道使用量</b>	<u>5 9 7,2 1 9 m<sup>3</sup></u>
	前年度	<u>621,257 m<sup>3</sup></u> <u>3.8 % 減少</u>
( 2 )	<b>紙の使用量</b>	<u>76,963,988 枚</u>
	前年度	<u>85,694,713 枚</u> <u>10.1 % 減少</u>
( 3 )	<b>廃棄物排出量</b>	<u>2 1,5 2 2 k g</u>
	前年度	<u>19,439 k g</u> <u>10.7 % 増加</u>

表 3 発生源別使用量

	基準年度 2014 年度 (H26 年度)	2020 年度 (R2 年度)	2021 年度 (R3 年度)	2022 年度 (R4 年度)	2023 年度 (R5 年度)	2024 年度 (R6 年度)	目標値 2025 年度 (R7 年度)
<b>水道 (m<sup>3</sup>)</b>	669,103	520,104	548,779	540,771	621,257	597,219	488,898
<b>紙 (枚)</b>	71,130,966	70,003,534	91,825,380	85,116,245	85,694,713	76,963,988	65,803,322
<b>廃棄物 (Kg)</b>	46,086	15,100	16,681	17,882	19,439	21,522	14,194

### 4 令和 6 年度評価

温室効果ガスの総排出量、各エネルギー使用量（電気・熱源・燃料）、廃棄物排出量ともに前年を上回る結果となった。温室効果ガスの総排出量については、目標値に届いていない。

令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症に伴う事業の縮小・中止があったことにより、各項目ともに排出量及び使用量が減少していたが、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和された後、各種事業を再開したことにより各エネルギーや水道等の使用量も増加してきているものと考えられ、これまで以上に職員一人ひとりの省エネルギー意識の醸成及び実践行動が必要となる。

## 5 今後の計画

事務事業による温室効果ガスの総排出量について、増加傾向にある中、これまでに行って  
いる取組を継続していくほか、再生可能エネルギーの導入を推進することにより、目  
標達成に近づけていく。

また、墨田区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）第6次計画策定に向けては、区の環  
境基本計画である「すみだ環境の共創プラン」とも整合性を図り、目標値の設定を行って  
いく。